

学校だより

第29号

椎の木



令和元年12月23日発行

流山市立東部中学校

充実の2学期でした

2学期が終わり、冬休みが始まります。振り返りますと、台風の影響で体育祭が順延になったり、大雨の影響で合同避難訓練が中止となり、東部中学校も避難所として開設したりと、荒天による危機管理体制の見直しと防災教育の必要性を肌で感じました。一方生徒は体育祭、椎木祭、防災教育、職業人講話や職場体験学習などのキャリア教育等、生き生きと活動に取り組み、お互いに支え合い、理解をしあい、人として大きく成長してくれました。東部中学校がより前進できた充実の2学期でした。生徒のがんばりに感謝しています。また、東部中学校の歩みには保護者の方の支え、地域の方々からのご支援があって初めて成し得ることと思っています。心より感謝申し上げます。冬休みになります。休み明け、生徒達が元気な姿を見せてくれることを1番の願いとしています。年の終わり、日本には除夜の鐘を聞くという風習があります。終業式でもこの「除夜の鐘」について話をしました。節目の時に、自己を振り返り新たな目標を持つことは人の成長には欠かせないものです。そんな冬休みであって欲しいと思っています。2学期の学校教育へのご理解とご支援、心より感謝申し上げます。良いお年をお迎え下さい。



各学年主任より

1学年主任 林 真弓教諭

2学期には行事を中心にさまざまな活動を行いました。小学校とはまた違った体育祭。自分達の手で応援や演技を創り上げる難しさや楽しさを学ぶことができました。また、椎木祭では学級の合唱を創り上げるために、どの学級も力を注ぎ、取り組むことができました。これらの取り組みを通してリーダーを中心に自分たちの手でよりよいものを創ろうとする自主的な活動につながれるようになりました。また学級を見つめ直し、仲間との絆や人間関係の見直しをするきっかけともなり、自分の学級を大切に、その一員として頑張ろうとする気持ちを養うこともできたと思います。その他、地域防災訓練での調べ学習の発表会や職業人講話などを通じて、地域での役割や自分の人生設計を考えるなど、日頃授業だけでは補えない人としてのあり方を考えるきっかけができ、幅広い学習になったのではないかと思います。学習面では授業の取り組みはもちろんですが、家庭学習のあり方を再確認し、毎日自主的な学習に取り組むことを大切にするために、つなぐシートのよりよい活用について話をしました。自分にあった学習方法を身につけ、毎日取り組めるようにしたいです。3学期には少し早いのですが、「先輩」としての生活を考えています。来年度に向け、1年間のまとめをしていきます。そして、2学期学級で培った力を学年で1つにし、もう一步前進できる学期にしていきたいと思っています。

2学年主任 今井 涼教諭

体育祭、椎木祭、職場体験などの行事を通して最上級生になる準備を進めた2学期でした。特に、後期からは各委員会の委員長が3年生から引き継がれ、学校の運営を任されることになりました。リーダー達はやる気に満ちたメンバーが集まり、「自分たちの代でこを良くしたい!」をテーマに委員会の活動内容を考えました。ただ活動内容を進めるだけでなく、自分たちの思いや情熱を、仲間や後輩達に伝えることができます。そんなリーダーに成長してほしいと思います。椎木祭では学年合唱の「地球の鼓動」を歌い上げ、これが先輩の合唱だという姿を後輩達に示すことができましたと思います。また、3年生の合唱を聞き、東部中の素晴らしい合唱文化を引き継ぐ覚悟を固めることができました。東部中の文化、伝統を守り、より良くして次に伝えていく事ができる最上級生になるために今から準備が必要です。

3学期はいよいよ受験生になることを考え、授業の受け方の見直しや、家庭での学習の質を高めるための活動を考えています。「勉強の方法がわからない」「勉強しても成績が上がらない」などの悩みが毎年ありますが、勉強の悩みは勉強することではしか解決できません。自主的に学習する習慣をつけるための取り組みを3学期は進めたいと思います。

3学年主任 安川 輝栄教諭

1年間で最も長い2学期が終わります。体育祭では、総合優勝、応援賞を目指し、応援団を中心に後輩の手となる動きを示しました。合唱コンクールではクラスの力を結束し、見事な合唱を創り上げました。この大きな行事に懸ける3年生の思いは強く、最上級生としての自信と誇りを前面に出し、後輩に目指すべき背中をしっかりと見せました。そんな思いや取り組みが、感動を生む原動力となったのだと思います。また、3年生として確実に、そして逞しく成長したと学年職員は強く感じました。

現在、生徒達は自身の進路開拓に向け、着々と準備を進めています。私立の受験校もほぼ決まり、公立高校を絞り込み、学習を深めていく段階となってきました。第1希望を最後まで追いかけるのもよし、自身の学習の成果を確認しながら、次の高校を選択する事も考慮し、力の限りの努力を重ねる時でもあります。反面、進路に対して不安が募る時期でもあります。ご家庭でお子さんの様子を見ながら、支え励まして下さい。厳しい一言も必要な時もあるかも知れませんが、一番見守る事ができるのもご家庭であることを忘れず、この冬休みを過ごして下さい。私たち職員も力の限り支えていきたいと思っています。

新元号初の年を明るく迎えられますことをご祈念申し上げます。

学年代表生徒から

生徒会副会長 池上 陽さん

2学期は3つの学期の中で最も長い学期です。また、その分内容も濃い学期となりました。まず、体育祭や椎木祭など大きな行事がありました。どの行事でも東部中生の良さのひとつである団結力を存分に発揮し、行事の成功そして自分達の成長へとつなげることができました。また、行事以外でもさまざまなことをやり遂げ前進していきました。6月の生徒総会で決まった活動の柱である「清掃」に対しても色々な取り組みを行いました。その成果もあり、少しずつですが良くなってきたと思います。3学期はとても短い学期ですが重要な学期です。3学期はどの学年も次へのステップを目標にさらにがんばらねばなりません。2学期の成果と課題をしっかりと生かし、よりよい生活づくりを目指しましょう。

1年学年委員長 関川 諒さん

2学期には体育祭、椎木祭があり、クラスの壁を越え、学年やシスターでの団結力を高めることができました。学年での取り組みとしては美化委員と協力をして清掃活動を向上させるプロジェクトや生活委員と協力して仲間に配慮した落ち着いた生活を送るためのプロジェクトを行ってきました。それらの取り組みを通して大きく成長することができたと思います。しかし、まだ完璧ではありません。改善できる点は多くあります。これから3学期に入っていきますが、課題を改善し先輩方に近づけるように各学級委員や班長と協力しながらがんばっていききたいと思います。そして東部中の活動の柱のひとつである「清掃」がよりよくなるようにがんばります。

2年学年委員長 竹田 結斗さん

2学期は大きな学校行事がありました。体育祭や椎木祭が待ち遠しい気持ちでした。去年の経験を生かし、1年生にダンスやソーラン節を教えたり、先輩としての行動を取ることができたと思います。椎木祭ではクラスで協力をして歌声活動に取り組みました。より一層クラスの絆が深まりました。そして3年生から2年生に全校のリーダーが引き継がれました。まだまだ意識は低いところもありますが、学年生活向上プロジェクトも始まり、全校のリーダーとしての意識がだんだんと芽生え始めています。3年生が安心して卒業できるように力強い学年にしたいと思っています。

3年学年委員長 木村 瞭汰さん

僕たち3年生は2学期の体育祭、椎木祭を通してクラスの絆をより深めることができました。また、普段の生活づくりからも成長することができました。特に体育祭や椎木祭では自主的にクラスで練習を行い、最終的にはクラス全体がひとつにまとまり目標に向かってがんばることができました。団結力がつき、お互いの絆が深まりました。3学期は、受験があり、一人一人の気持ちバラバラになることもあるかと思いますが、みんなで励まし合って乗り切り、最後まで全校の手本となるリーダーでありたいと思っています。

【令和2年1月の主な予定】詳細はホームページをご覧ください。

1月7日（火）始業式 8日（水）実力テスト 10日（金）1年百人一首大会

17日（金）漢字検定 23日（木）24日（金）3年学年末テスト・新入生保護者説明会

30日（木）椎木評議会